

# 箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟  
箕面ユネスコ協会事務局  
〒562-0013 箕面市坊島4-5-20  
みのおキューズモール2Fみのお市民活動  
センター内 箕面ユネスコ協会(メールボックス)  
E-mail [sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp](mailto:sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp)

## ◆ 目次 ◆

- 活動報告
- 世界寺子屋運動 箕面ユネスコ版
- お知らせ



♪ホームページ折々に更新中!  
「箕面ユネスコ協会」  
で検索してください♡

## ユネスコ リーフレットコンテスト

おめでとうございます!

萱野東小学校5年生の2作品が奨励賞



♪全校朝会で、日本ユネスコ協会から届いた表彰状が披露されたそうです

日本ユネスコ協会連盟が「世界寺子屋運動」の一環として行っている「寺子屋リーフレット制作プロジェクト」は、2003年度より国際理解教育の一環としてスタートしました。学びたくても学ぶことができない人びとのために、子どもたちができることを考え、協力を呼びかけるリーフレットを作成します。全国各地の小学生～高校生が参加する活動です。

1年を通して、友だちとの絆、世界との絆を育ててきた萱野東小学校5年生の子どもたちと、箕面ユネスコ協会も協働してきました。2学期末には、4つのグループに分かれ、世界の識字事情などを調べた発表を行いました。その1グループが「リーフレットコンクール」に参加しました。

今回、校内予選を勝ち抜いた2作品がエントリーしました。全国を対象にNET投票が行われ、奨励賞を受賞しました。おめでとうございます!

## ● 萱野東小学校5年生の子どもたち そしてフィリピンの子どもたち

例年通り、1月中旬フィリピンを訪ねようと予定をしていた。出発が近づいた頃、大濱さんから「私が授業をしている萱野東小学校5年生が集めた鉛筆を届けてほしい」という話がありました。フィリピンの子どもたちにバットとソフトボールをおみやげと考えていた上に、鉛筆を届けることができると喜んで承諾させてもらった。必ず現地の子どもたちからのメッセージを届けると伝え、1月12日にルソン島サンアントニオへ出発した。到着し一番にサンアントニオ小中学校へ届けた。子どもたちや担任の先生から大歓迎受け、お礼のメッセージを一人ひとり寄せてくれた。



3月14日に帰って、あくる日に鉛筆を贈ってくれた5年生の子どもたちに、渡した時の様子を伝えることと、集めてくれたお礼を述べに萱野東小学校を訪問させてもらった。その時の光景は大濱さんが次の記事で書いてくれています。

(中嶋 嘉伸)



## ● 総合学習「萱東 絆プロジェクト ～世界とつながろう～」

1年間、ともに学ばせて頂いた萱野東小学校5年生の子どもたちとの最後の授業は、『フィリピンの子どもたち』がテーマでした。伝えたのは、5年生が集めてくれた鉛筆などを現地に届けた中嶋嘉伸さんです。

サンアントニオ小学校の子どもたちがどんなに鉛筆を喜んでくれたのか、その様子を聞く5年生のみんなの顔にも笑顔がこぼれました。自分の力が役に立つ嬉しさ、直接つながる醍醐味を感じてくれたことと思います。

屋台や売店で簡単な昼食を買って食べたり、安全のためにバイクタクシーで通学したり、長いお休みが4月5月にまとめてあったり、3年生ぐらいからは全ての授業が英語で行われたり…といった学校生活の様子

子や、子守や庭掃除など家のお手伝いを当たり前にする様子などなど、日本との違いに子どもたちは興味津々、次々と手が挙がる質問にも中嶋さんが丁寧に答えてくださいました。

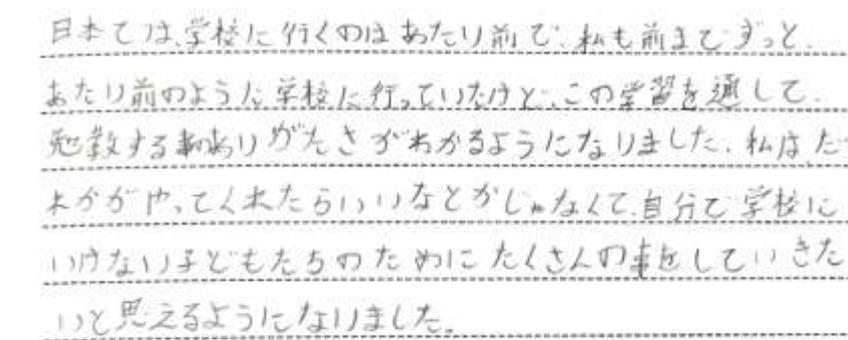
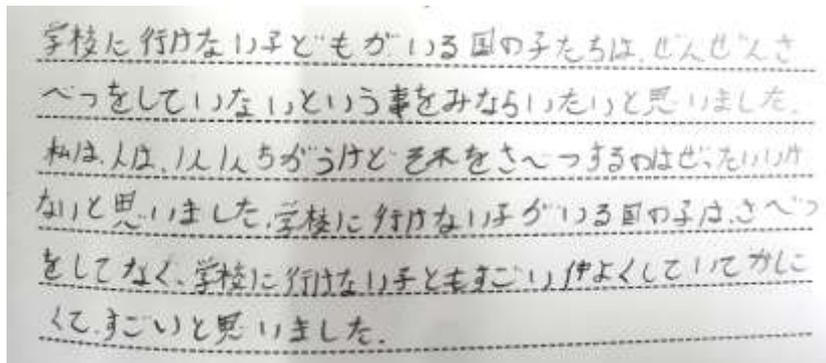
学校に行くことがで



きず、よその家の家畜を世話して家計を助ける男の子のことも紹介されました。ひどく汚れた様子から一日の労働の厳しさが伺えましたが、学校から帰ってきた他の子どもたちと屈託なく遊ぶ様子はとても楽しそうでした。学校に行くことで貧しさの悪循環から脱却してほしいと願うとともに、一所懸命暮らしを支えて過ごしている村の子どもたちの姿に、考えさせられることの多い時間になりました。

(大濱 淳子)

\*\*\*\*\*子どもたちのまとめた冊子より\*\*\*\*\*



### ● 「3. 11を忘れない」ユースフォーラムを開催

#### 「7年目の3月11日」市民活動センターにて

恒例になった東日本大震災復興支援イベントを、今年も、市民活動フォーラムみのおとの共催で、若い世代をメインとしたユースフォーラムを開催しました。



アサンプション国際中学校高等学校が、宮城県の被災地を巡って感じたこと、北摂つばさ高校と春日丘高校の高校生がボランティア体験して感じたことを7人の中学生高校生がパネラーとして報告してくれました。み



んなしっかりと今の被災地の現状を自分の言葉で語ってくれて、若い世代の素直な思いが伝わるフォーラムでした。例年通りのアサンプション国際中学校高等学校、小学校の聖歌隊による募金活動とチャリティコンサート、箕面ユネスコ協会の復興物産展も行き、沢山の方に来ていただき、7年目を迎え、これからやるべきことを改めて実感する1日になりました。

(須貝 昭子)

## ●ゆるやかにつながるネットワーク！ ネパールスタディツアーに参加して

「ルシエール」の第2回スタディツアー 平成30年3月21日～29日

今回お誘いを受け、ネパールの教育支援を行っている元松原高校教諭の山田先生が主催する「ルシエール」の第2回スタディツアーに、以前東日本大震災のボランティア活動をともし行った高校生や大学生と一緒に参加しました。ネパールでの山田さんの活動は非常に興味深いもので、スタディツアーは過酷でしたがとても感動しました。ネパールまで30時間余り、カトマンズから車で6時間ほどのパンチェット村でホームステイしました。生活する中で、学校

が遠い、病院がない、水がない、自給自足はできても現金収入がなく病院へかかることも困難なこと、若者たちが村を出て過疎化が進んでいることなどの現状を知ることが出来ました。4日間のホームステイの後は、村から移動し、カトマンズ近くの孤児院パールグリハで子どもたちと出会って遊びました。私はひたすら折り紙を折り続けました。夜は子どもたち

の部屋で一緒に寝ました。

山田正人さん主宰の「ルシエール」Le Cielは、ネパールのラメチャブ郡パンチェット村で、農業を中心に多彩な計画を進めています。

『教育』と『win-win』を理念に基礎教育環境の充実、若者の経済的な自立、雇用の拡大などの活動を行っています。インフラや外交など様々な問題が絡み合いアジア最貧国といわれているネパールには「豊かな」人たちがたくさんいます。しかし、経済・環境的な問題で夢を叶えられない若者も多いのが現状です。Le Cielは、今後パンチェット村をモデルケースにし、夢が叶う地域作りを広げていこうとしています。

日本と全く違う異文化の生活を村でのホームステイを通して、学生たちが自分の殻を破りながら、現地の村人の支援を受け、多くの「気づき」と「学び」を得て成長してする姿に感動しました。（坂口 一美）



★ぜひご覧ください★子どもたちを学校へ

気軽に参加できる、「タンズ遺産ダンス」のムービー編「遺産を募金」に

<http://www.unesco.or.jp/terakoya/kakisonji/>

書きそんじハガキ、未使用切手、プリペイドカードの3兄弟が、かわいいダンスと歌でご家庭に眠った「遺産」について呼びかけています！

### 箕面ユネスコ協会からのお知らせ！

☆箕面ユネスコ協会 総会のご案内

5月20日(日) 午前10時～12時30分

萱野小学校視聴覚室で2018年度総会を開催します。

是非ご出席ください！